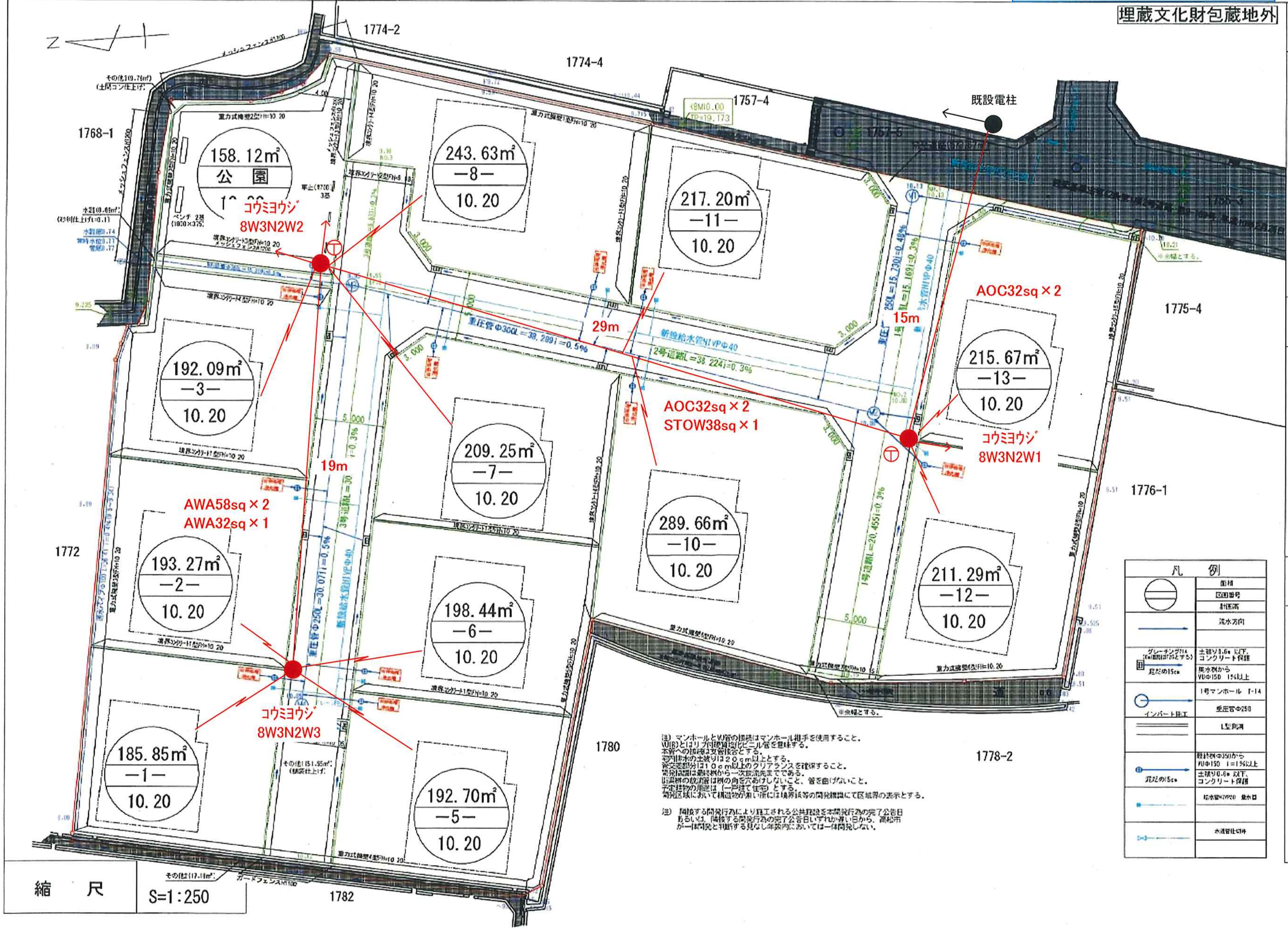
電柱案(確定)

土地の所在	高松市檀紙町字半田1773、1775-1、1775-2、1781

土地利用計画図

埋蔵文化財包蔵地外

開発許可 年 月 日	
第 号	平成 年 月 日
申請者	株式会社ロータリーハウス・ルーツ 代表取締役 増元 竜彦
作成者 住所・氏名	高松市円座町１５８０番地１０ 土地家屋調査士 岡野上 竜二 二級建築士 (印)


1774-2
1774-4
1757-4
1757-5
BM10.00
TP=19.173
既設電柱
1768-1
1775-4
1776-1
1772
1780
1778-2
1782
158.12㎡
公園
243.63㎡
−8−
10.20
217.20㎡
−11−
10.20
192.09㎡
−3−
10.20
209.25㎡
−7−
10.20
289.66㎡
−10−
10.20
215.67㎡
−13−
10.20
211.29㎡
−12−
10.20
193.27㎡
−2−
10.20
198.44㎡
−6−
10.20
185.85㎡
−1−
10.20
192.70㎡
−5−
10.20
コウミヨウジ
8W3N2W2
コウミヨウジ
8W3N2W1
コウミヨウジ
8W3N2W3
AOC32sq×2
15m
29m
AOC32sq×2
STOW38sq×1
19m
AWA58sq×2
AWA32sq×1
重圧管Φ300L=38.289I=0.5%
新設給水管VP Φ40
2号道路L=38.224I=0.3%
1号道路L=20.455I=0.3%
3号道路L=30
重圧管Φ250L=30.07I=0.5%
新設給水管VP Φ40
5.000
3.000
ベンチ 2基
※余幅とする。
凡例
面積
区画番号
計画高
流水方向
グレーチング付
泥だめ15cm
土被り0.6m 以下、コンクリート保護
集水桝から VUΦ150 1%以上
1号マンホール I-14
重圧管Φ250
インバート施工
L型側溝
最終桝Φ350から VUΦ150 I=1%以上
泥だめ15cm
土被り0.6m 以下、コンクリート保護
給水管Φ20 量水器
水道管仕切弁

注）マンホールとVU管の接続はマンホール継手を使用すること。
VU(R)とはリブ付硬質塩化ビニル管を意味する。
本管への接続は支管接合とする。
宅内排水の土被りは２０ｃｍ以上とする。
管交差部分は１０ｃｍ以上のクリアランスを確保すること。
開発協議は最終桝から一次放流先までである。
街渠桝の放流管は桝の角を穴あけしないこと、管を曲げないこと。
予定建物の用途は（一戸建て住宅）とする。
開発区域において構造物が無い所には境界鋲等の開発標識にて区域界の表示とする。

注）隣接する開発行為により施工される公共施設を本開発行為の完了公告日あるいは、隣接する開発行為の完了公告日いずれか遅い日から、高松市が一体開発と判断する見なし年数内においては一体開発しない。

縮尺	S=1:250